



No. 3

有脇小学校校長だより

平成30・5・16

有脇小学校 校訓

有脇小学校の校訓は「楽しく 正しく 美しく」です。校訓には、こんな子どもに育ててほしい、こんな思いをもってほしいという思いが込められています。有脇小の子どもたちは学校生活を楽しんでいるでしょうか。正しい判断をして正しく生活しているでしょうか。心も美しく行動も美しく育てているでしょうか。有脇小の子どもたちが校訓にあるように生き生きと成長できるよう、わたしたち大人が導いていかななくてはなりません。どうぞさらなるご協力をお願いいたします。

ちなみに子どもたちは校訓を知らず知らずのうちに覚えています。有脇小学校校歌の1番から3番まですべてに「楽しく 正しく 美しく」という歌詞が入っているんです。校訓が入った校歌、珍しいと思います。



自分の命は自分で守る

地震の避難訓練を行いました。この地方も巨大地震が必ず発生するといわれています。

備えとして訓練はとても大切です。今回は緊急地震速報のあとの大きな揺れという設定で、教室でのシェイクアウト（姿勢を低く・頭を守り・じっとする…アメリカ防災研究チームが防災訓練のために考えた造語）から運動場への避難を行いました。全校児童が避難開始から完了まで2分20秒で終えることができました。「お（さない）・は（しらない）・し（やべらない）・も（どらない）」を徹底的に守ったすばらしい避難訓練でした。もしも本当に巨大地震が起きたら、机の下に身を隠す事すらできないかもしれません。しかし、それぞれが「自分の命は自分で守る」と意識して行動すれば、すべての命が助かります。

東日本大震災で津波に襲われた釜石では「津波てんでんこ（海岸で大きな揺れを感じたときは、津波が来るから、肉親にもかまわず、各自てんでばらばらに一刻も早く高台に逃げて、自分の命を守れという意味）」の教えが生きたからこそ、生存率99.8%という奇跡が起きました。「自分の命は自分で守る」ことの大切さをしっかり意識し、行動を身につけてほしいと思います。地域防災訓練への参加もお願いします。



お知らせ

生活支援員の梶田先生が都合により退職されました。かわって角谷 美穂（かくたに みほ）先生が5月21日より生活支援員を担当します。どうぞよろしくお願いいたします。

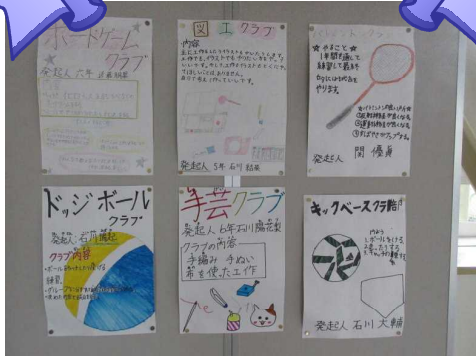
自分の命は自分で守るの2

交通安全教室が開催されました。1・2年生は歩行訓練を、3～6年生は自転車訓練を行いました。1・2年生は雨天で傘をさしての歩行を想定して行いました。傘をさしながらの横断は、手がふさがり見通しも悪くなります。交通指導員さんから丁寧に歩行の仕方や信号機の見方などを教えてもらい、実際に校外を歩きました。3・4年生は、運動場で自転車訓練を行いました。運動場に描かれたコースを、4～5回繰り返し練習しました。5・6年生は、運動場のコースで練習した後、実際に校外へ出て訓練を行いました。有脇小学校区には細い道や坂があります。自分自身が気をつけなければ安全は確保できません。自分の命は自分で守る。訓練を通して身につけたことをしっかり実践していきます。

ご協力くださいました交通指導員の方々、スクールガードのみなさま、PTAボランティアのみなさま、ありがとうございました。



自分で企画して



有脇小学校では4・5・6年生が原則として月に1回クラブ活動を行っています。有脇小学校では、クラブ活動の内容は子どもたちが決めます。異学年で5名以上集まるとクラブとして認められます。子ども自身で企画してクラブを立ち上げるのです。昇降口に部員募集のポスターが掲示してありました。今年は6つのクラブが立ち上がりました。「ドッジボール」「手芸」「キックベース」「図工」「バドミントン」「ボードゲーム」です。楽しみながら活動していきます。

生徒がいぬもいよいよ 変?

教員勉強中!

有脇小では現職教育という教員の勉強会をしています。今回は、東海市立教員研修センターの豊嶋由起子先生をお招きして、道徳の授業について講義をしていただきました。豊嶋先生は「考え議論する道徳の授業が必要だ」と話されました。文章の読解ではなく、自分だったらどうするかを考え、良くしていくためにはどうすべきかを考え、みんなでどうしたらいいのかを議論する。また、道徳は本年度から教科になりました。「道徳科」になったということは、「評価」もあります。豊嶋先生は、「わくわくしながら子どもの良さを見つけることが評価だ」とおっしゃいました。有脇小では、今までよりももっとたくさん子どもたちに議論させ、子どもたちの良さをどんどん見つけていきます。

